

事務局 〒028-3310 紫波町日詰駅前1-10-2 赤石公民館内 Tel 019-676-3999

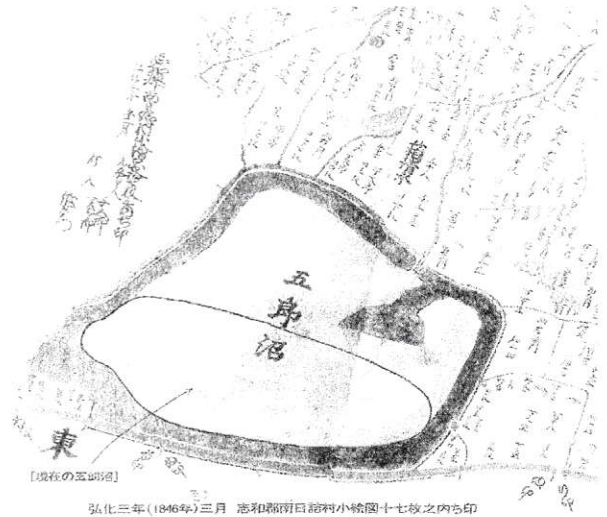
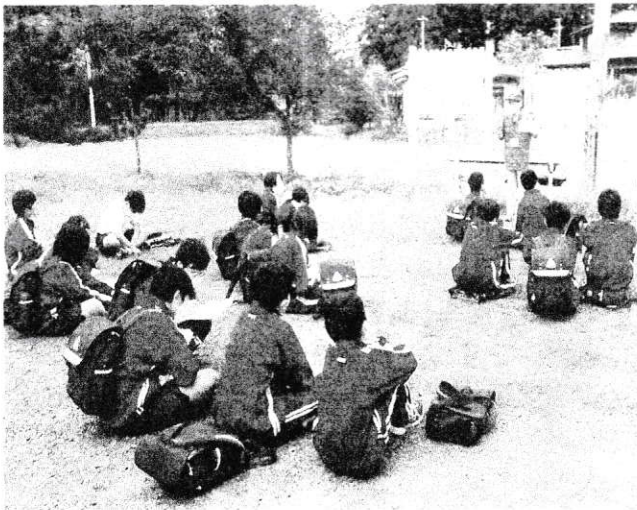
樋爪館跡周辺の歴史について 紫波一中1年生フィールドワーク

紫波一中1年生203人は、総合的な学習として「紫波町の昔を知る ～後世に残したい紫波町の歴史・文化を見つけよう～」をテーマに、フィールドワークが9月30日に実施された。

当日は、生徒自ら決めた取り組みの内容別に9コースがつくられ、樋爪館・五郎沼関連の歴史についてを調査・研究するグループは38人と最大であり、その関心の高さがうかがわれた。

樋爪館・五郎沼グループは、先ず樋爪館跡の敷地内にある箱清水公民館において、事前学習を行い、そこから二組に分かれて現地に行き、五郎沼、山吹川、周辺の石碑の歴史や伝説などについて本会の遺跡案内人が持ち場を分担して講話した。

生徒においては、熱心に説明のメモをとり質問をし、また、タブレットで古代ハス由來說明板、樋爪館周辺絵図板を撮るなど、短い時間であったが、有意義に紫波町の歴史の一片を学ばれた。



樋爪館周辺絵図板と五郎沼古代ハス由来板の前にて 説明資料から(1846年当時の五郎沼:現在の約2倍)

このフィールドワークにおける、生徒たちの感想と俳句を記したはがきサイズの「はがき新聞」10通が紫波一中より送付されましたので、その中から無作為に抽出した「はがき新聞」一つと五郎沼などを詠まれた俳句10句を紹介します。

- 俳句の紹介
- ハスの花 されいに咲いた 五郎沼
 - たくさんの 歴史が生まれた 五郎沼
 - ハスの花 泰衡の首に ハスのたね
 - 歴史ある 蓮の花ある 五郎沼
 - 五郎沼 自然と歴史が つまっている
 - 五郎沼 今も咲いている ハスの花
 - 五郎沼 自然で分かる 昔の歴史
 - 伝説の 砂金が流れる 山吹川
 - 五郎沼 歴史がいっぱい 面白い
 - 五郎沼 歴史がいっぱい 古代ハス

五郎沼にハスが送られてくるまで

ハスの花

今日のフィールドワークでは、五郎沼の歴史や古代ハスの歴史を知ることができました。その中でも、荷に心に残っているハス

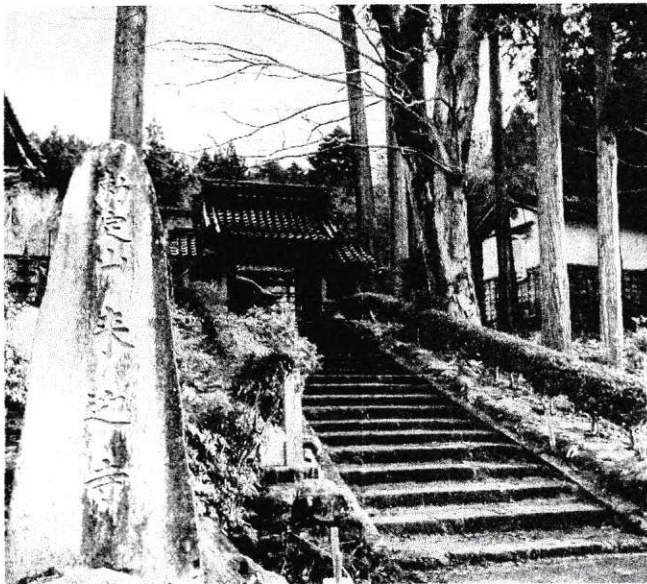
五郎沼 今も咲いている ハスの花

の歴史には、頼朝と義経の兄弟ゲンカが関係していたといふことですが、兄弟の間隙はくずれてしま、たけな、泰衡の種ありはハスの種があったおかげで、今も咲いているハスが咲いていること、とうございませう。

の歴史には、頼朝と義経の兄弟ゲンカが関係していたといふことですが、兄弟の間隙はくずれてしま、たけな、泰衡の種ありはハスの種があったおかげで、今も咲いているハスが咲いていること、とうございませう。

石川県で **全国「樋爪会」の総会と法要** 樋爪館懇話会より9人参加予定

能登半島



樋爪一族の法要が営まれる勅定山来迎寺(石川県穴水町)

「全国の“樋爪さん”大集合in紫波！」サミットを機に設立された全国「樋爪会(会長樋爪憲三:石川県羽咋市)」総会が11月20日、樋爪一族の法要が21日にいずれも石川県鳳珠郡穴水町で行われる。

本会は、全国「樋爪会」よりの催事の案内を受け関連団体との連携事業と捉え、本県在住会員に限り案内したところ、9人が参加する予定である。

「樋爪会」会長の樋爪憲三氏は、全国の樋爪さん宛てに挨拶文を寄せていますので紹介します。

『私は、何処から来たのだろう。人は年を重ねて、これから何処へ行くのだろうかと思う時があります。そんな時、紫波町より「全国の“樋爪さん”大集合in紫波！」の案内があり参加しました。

奥州藤原氏の歴史を学び、樋爪始祖一族の成立を知り、そのルーツを知る事ができました。これも高橋敬明前会長をはじめ、地元の皆様の10年にわたる御努力と感謝申し上げます。

奥州藤原氏より別れた樋爪一族のたどった歴史を知るにつけ、樋爪は武将として評価できませんが、最新の文化、哲学である仏教に帰依し、無益、無慈悲の戦を避けるなど、思慮深く、慈悲の心の篤い一族であったと私は信じております。

私たち末裔は、奥州藤原氏滅亡後800年、先の太平洋戦争には激変を余儀なくされながらも、それぞれの地で命をつないできました。

これからも浄土においでになる清綱、俊衡、季衡親子を偲び、時には御加護をいただきながら全国の“樋爪”さんと共に歩んで行きたいと思いをします。』

《《11月~12月 行事予定のお知らせ》》

<p>11月17日 (水曜日)</p>	<p>第125回 月例発表会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 会場 赤石公民館 講義室 ・発表者 岡村 日出子 講談「よみがえった古代蓮」 ・発表者 大沢 斗志子 講談「お蓮(れん)」 ・発表者 平井 和夫 「ひづめ 館」の漢字表記 (「館」の表記について) 「比爪館」か「樋爪館」か!</p>
<p>12月 5日 (日曜日)</p>	<p>第26回 定期講演会</p>	<p>午後1時30分から午後3時30分まで 会場 赤石公民館 講堂 講師 千葉 信胤(のぶたね)氏 平泉文化遺産センター 参与 演題 樋爪と平泉(歴史と伝説の整理) 会費 500円(会員200円)</p>